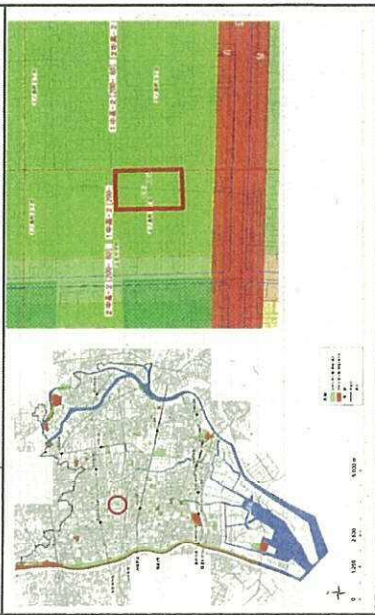
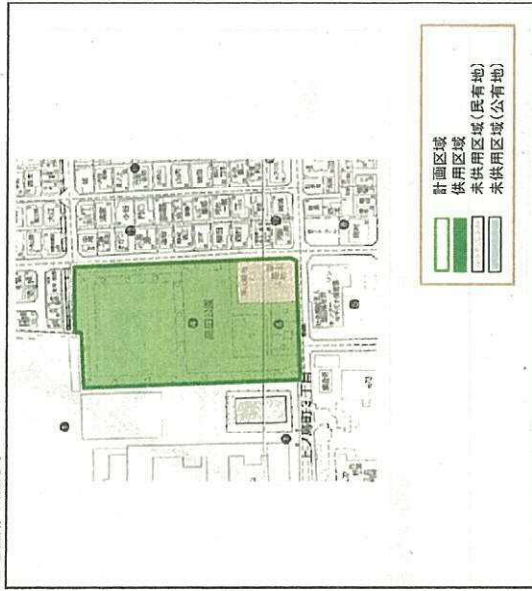


2. 2. 4057号 高田公園

公園概要		公園種別	街区
都市計画決定年月日	当初 昭和32年3月28日	計画面積	0.72ha
位置	最終 昭和60年2月5日	用途地域	第一種中高層住居専用
用途地域	尼崎市上ノ島町3丁目	上位計画における位置付け	有(立花生島)
上位計画における位置付け	有【緑の基本計画(防災の拠点)、地域防災計画(大火災避難場所)】	土地収用区画による取極の有無	有(立花生島)



土地利用の状況等



供用状況

供用年月日	昭和43年12月29日	供用状況	一部未供用
供用面積	0.64ha	標準面積との比較	標準面積以上
未供用面積	0.08ha	供用率	88.9%
未供用面積の内訳	公有地	その他	民有地
	公園用地		

概算事業費

合計	183,200千円
概算事業費	内訳 用地買収費157,600千円、工事費25,600千円
民有地の土地利用	墓地

周辺の状況

都市公園の充足状況	一部未充足	全市0.42ha、県単0.17ha、北借替1.10ha、上の郡西0.11ha
上位計画で求められている機能の代替性	有(高田公園の供用部分で機能が発揮できている)	
都市公園機能の代替性	環境・景観	文化・レクリエーション
周辺の代替施設	標準面積以上のため代替性の検証なし	

検証結果

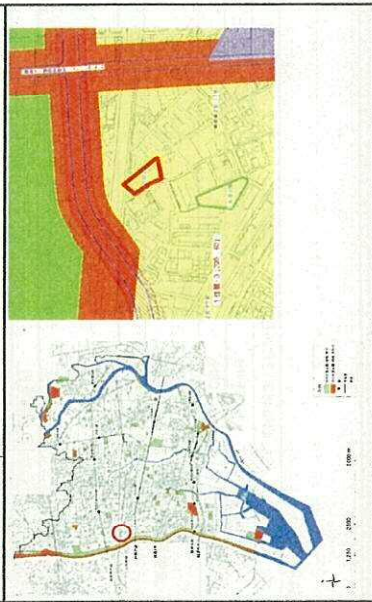
必要性	上位計画に位置付けがある	〇:有 △:一部有 ×:無 -:検証不要
代替性	一部未供用であるが標準面積以上である	
実現性	供用部分のみでその機能が十分発揮できている	
	未供用区域は全域民有地(墓地)であり、整備が見込めない	
地域固有の要素を含めた総合的な検証	供用面積が標準面積以上である。また、都市計画決定時に計画していた公園施設と同等の施設が設置されており、都市公園としての機能が供用部分で発揮できている。	
検証結果	面積稍小(未供用の全部)	
特記事項	計画面積	0.72ha
	見直し前	0.64ha
	廃止面積	0.08ha





2. 2. 4063号 南守部公園

公園概要		公園種別	街区
都市計画決定年月日	当初 昭和32年3月28日	公園種別	街区
位置	最終 昭和60年2月26日	計画面積	最終 0.20ha
用途地域	尼崎市南武庫之荘1丁目		
上位計画における位置付け	無		
	無		
	無		

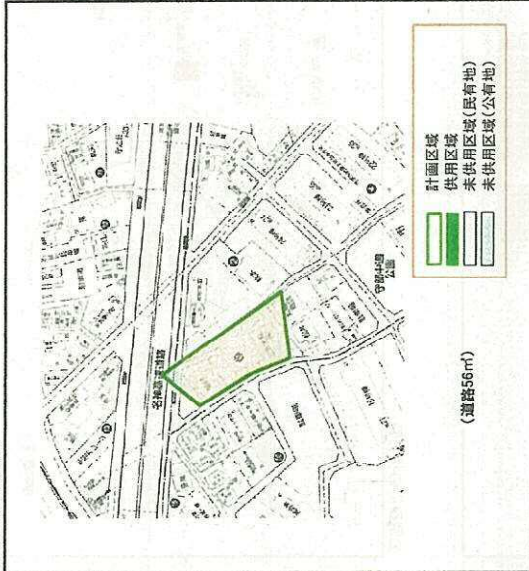


供用状況	供用年月日	供用状況	全壊未供用
供用面積	0.00ha	標準面積との比較	標準面積未済
未供用面積	0.20ha	供用率	0.0%
未供用面積の内訳		公園用地	民有地
		その他	0.19ha
		0.01ha	

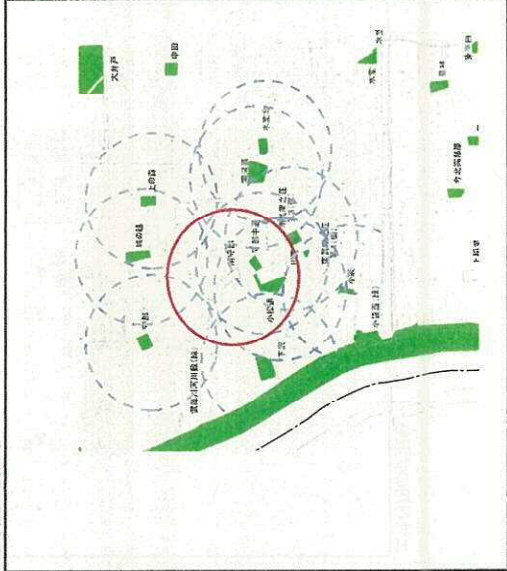
概算事業費	合計 437,863千円
概算事業費	内訳 用地買収費275,500千円、移転補償費98,363千円、工事費64,000千円
民有地の土地利用	工業専用施設、商業、業務兼用住宅、保管施設

周辺状況	新市公園の充足状況	上位計画で定められている用途の代替性	新市公園機能の代替性	周辺の代替施設
新市公園の充足状況	充足	無	環境・景観	防災
上位計画で定められている用途の代替性			文化・レクリエーション	
新市公園機能の代替性			充足地のための代替性の検証なし	

土地利用の状況等



公園周辺の状況等



検証結果		○:有 △:一部有 ×:無 -:検証不要
必要性	上位計画に位置付けがない 新市公園として	×
代替性	上位計画の 用途の代替 新市公園 居住の代替	-
実現性		-
地域固有の要素を 含めた総合的な検証	当該公園の新市計画決定以降、周辺に新市公園が整備された ことにより充足地となったため、計画当時と比べ必要性がなくな った。	-
検証結果		廃止
特記事項		
	計画面積	見直し前 0.20ha 見直し後 0.00ha 廃止面積 0.20ha





2. 2. 4065号 西葦松公園

公園概要			
都市計画決定年月日	当初 昭和32年2月28日	公園種別	街区
	最終 昭和60年2月26日	計画面積	最終 0.29ha
位置	尼崎市武庫之荘1丁目		
用途地域	第2種中高層住居専用 土地区画整理による取得の有無		
上位計画における位置付け	有【緑の基本計画(水辺の軸)】		

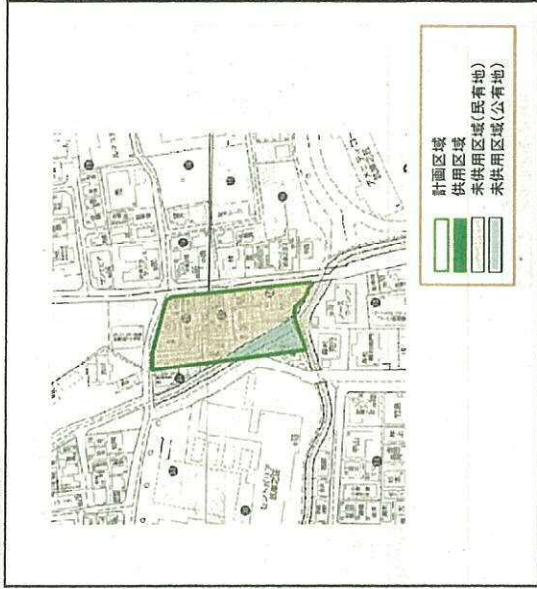


供用状況	
供用年月日	—
供用面積	0.00ha
未供用面積	0.29ha
未供用面積の内訳	公有地
	公園用地
供用状況	供用面積との比較
標準面積との比較	標準面積未満
供用率	0%
その他	0.03ha
民有地	0.25ha

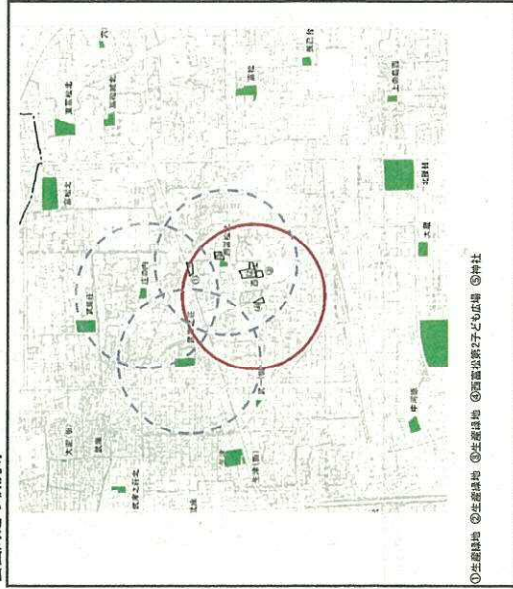
概算事業費	
合計	1,113,277千円
概算事業費	内訳 用地取得費700,000千円、移転補償費320,477千円、工事費92,800千円
民有地の土地利用	独立住宅(24軒)、集合住宅(4軒)、商業・業務兼用住宅(3軒)

周辺状況	
都市公園の充足状況	一部未充足 武庫之荘0.19ha、西葦松0.05ha、庄の内0.08ha
上位計画で求められている機能の達成性	無
都市公園機能の代替性	環境・景観 ○ 文化・レクリエーション ○ 防災 ○
周辺の代管施設	西葦松北公園、生産緑地(3箇所)、神社

土地利用の状況等



公園周辺の状況等



検証結果

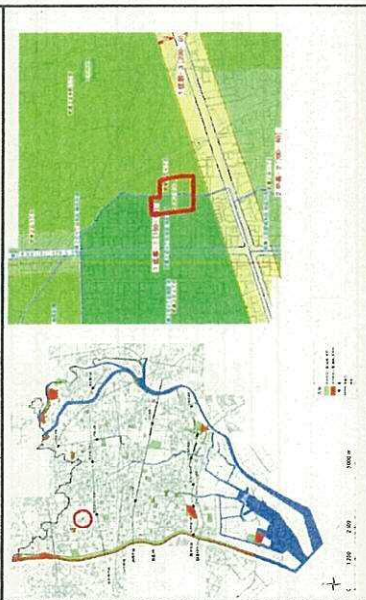
必要性	上位計画に照けて必要とする	○	上位計画に位置付けがある
代替性	都市公園としての必要性	○	全域未供用で未充足である
実現性	土地利用の代替性	×	
	都市公園機能の代替	○	周辺環境に合わせた代管施設があり、不足する部分等は計画に相当する
地域固有の要素を含めた総合的な検証	実現性	×	未供用区域は既存地及び市有地(子ども広場、水辺)であり、整備が図れない
	検証結果	○	施設面での西葦松(公園)の未供用による影響が大きい。都市公園の役割を十分に果たすことができない。水辺は公園と一体的な整備施設として存続する。
特記事項	検証結果	○	区域内に西葦松第2子ども広場があり、西葦松公園として一体的に供用することを検討する。
	計画面積	見直し前	0.29ha
	廃止面積	見直し後	0.29ha
		廃止面積	0.00ha



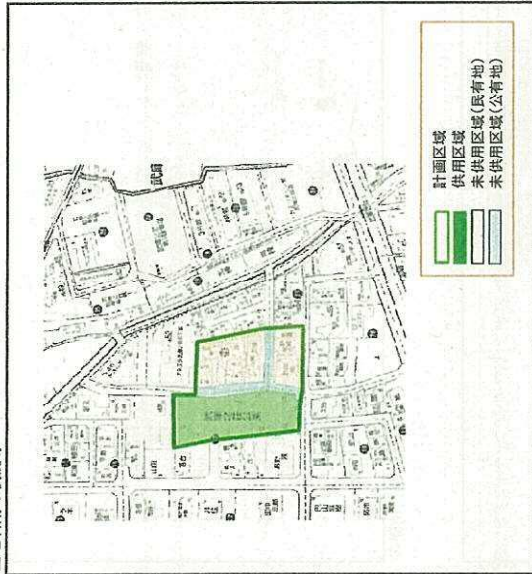


2. 2. 4066号 武庫之荘公園

公園概要		公園種別	街区
都市計画決定年月日	当初 昭和22年9月28日	計画面積	0.39ha
位置	最終 昭和60年2月5日	有(緊急武庫)	
用途地域	肥崎市武庫之荘丁目	土地用途種別による取得の有無	
上位計画における位置付け	第1種中高層住居専用地域 第1種低層住居専用地域	無	



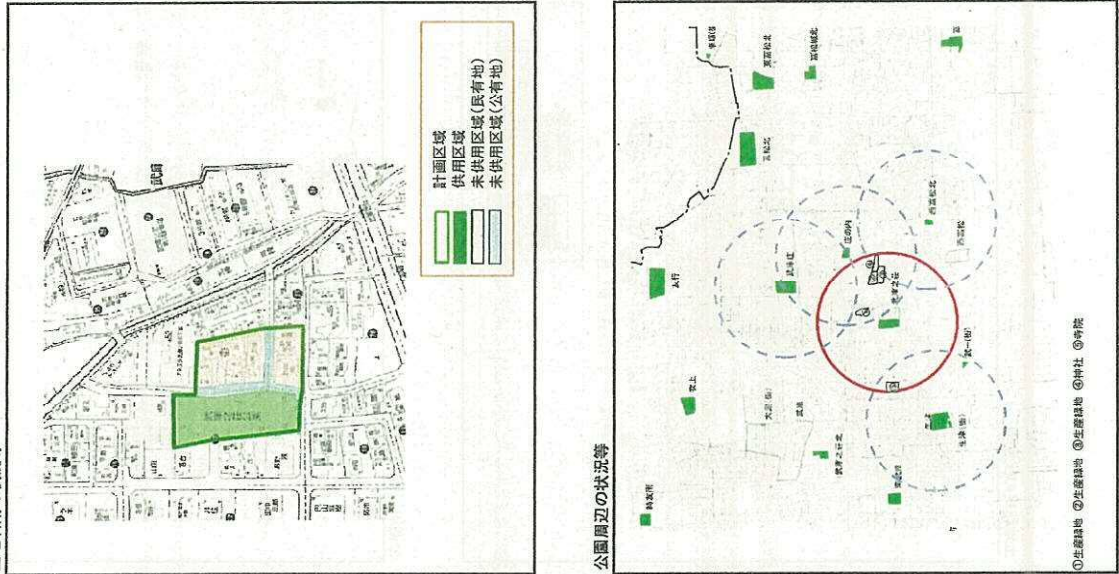
土地利用の状況等



検証結果	○:有 △:一部有 ×:無 -:検証不要
必要性	上位計画に即ける必要性 都市公園として 一部未供用で標準面積未済であり、かつ未充足地である
代替性	上位計画の 都市公園 機能の代替 -
実現性	× 4つの機能のうち、文化、レクリエーション、防災機能が不足している × 未供用区域は民有地及び道路であり、整備が見込めない × 供用区域のみで必要な標準面積を満たしている × 地域固有の要素を 含めた総合的な検証 また、都市計画決定時に計画していた公園施設と同等の施設が設置され、都市公園としての機能が供用部分で確保できている。 周辺は地区計画による良好な住環境が形成されている。
検証結果	面積縮小(未供用の全部)
特記事項	
計画面積	見直し前 0.39ha 見直し後 0.19ha 廃止面積 0.20ha



公園周辺の状況等



供用状況	昭和34年10月1日	供用状況	一部未供用
供用面積	0.19ha	標準面積との比較	標準面積未済
未供用面積	0.20ha	供用率	48.7%
未供用面積の内訳	公園用地	その他	民有地
	-	0.05ha	0.15ha

概算事業費	
合計	592,387千円
内訳	用地買収費228,500千円、移転補償費199,887千円、工事費64,000千円
民有地の土地利用	独立住宅(12軒)

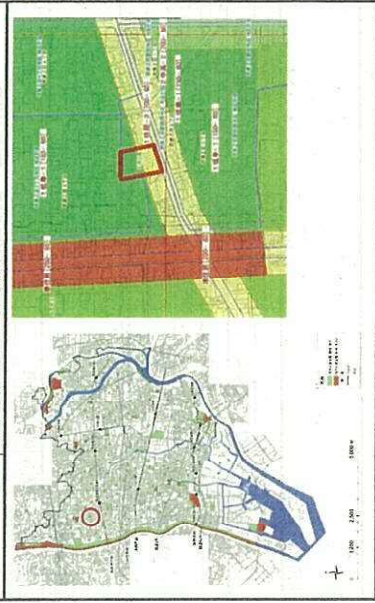
周辺状況	
都市公園の充足状況	生減0.30ha、高電圧北0.05ha、武庫庄0.28ha、庄の内0.08ha
上位計画で定められている都市公園機能の代替性	環境・景観 ○ 文化・レクリエーション × 防災 ×
周辺の代替施設	生産緑地(3箇所)、神社、寺院



2. 2. 4067号 生澤公園

公園概要

都市計画決定年月日	当初 昭和32年3月28日	公園種別	街区
	最終 昭和63年2月26日	計画面積	最終 0.34ha
位置	尾崎市武庫之若3丁目		
用途地域	新1種住居 第一種低層住居専用地域	土地用途制限による取付の有無	有(緊急武庫)



土地利用の状況等



供用状況

供用年月日	昭和15年12月27日	供用状況	一部未供用
供用面積	0.30ha	標準面積との比較	標準面積以上
未供用面積	0.04ha	供用率	88.2%
未供用面積の内訳	公園用地	その他	民有地
			0.04ha

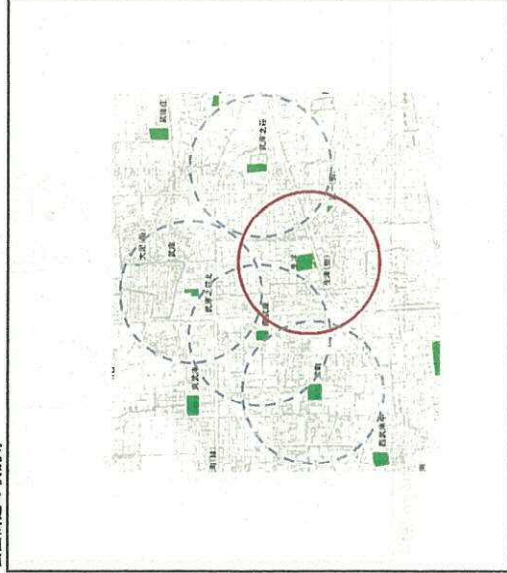
概算事業費

合計	1119,600千円
概算事業費	内訳 用地買収費106,800千円、工事費12,800千円
民有地の土地利用	留地

周辺状況

都市公園の充足状況	一部未充足	武庫之若0.19ha、武庫之若100.06ha、南武庫0.14ha、栗町0.26ha
上位計画で定められている景観の代替性	有(街路樹)	
都市公園機能の代替性	環境・景観	文化・レクリエーション
周辺の代替施設	標準面積以上のため代替性の検証なし	
		防災

公園周辺の状況等



検証結果

必要性	○ 上位計画に位置付けがある △ 一部未供用であるが標準面積以上である × 周辺に上位計画で求められている機能の代替がある
代替性	○ 周辺の代替 △ 周辺の代替 × 周辺の代替
実現性	○ 未供用区域は一部の区域を除き(私有地)であり、整備が見込めない △ 供用面積の標準面積以上である。また、都市計画決定時に計画していた公園施設と同等の施設が設置されており、都市公園としての機能が供用部分で発揮できている。
検証結果	○ 面積縮小(未供用の全部) △ 区域の一部に生澤街園がある。
特記事項	
計画面積	見直し前 0.34ha 見直し後 0.30ha 廃止面積 0.04ha



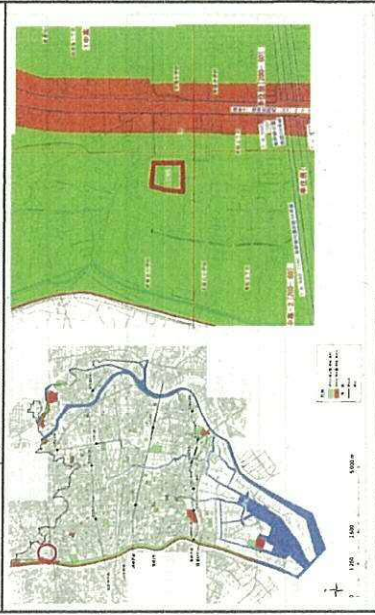






2. 2. 4069号 常松公園

公園概要		公園種別	街区
都市計画年度	当初 昭和32年9月28日	計画面積	最終 0.27ha
位置	尼崎市常松2丁目		
用途地域	第一種中高層住居専用 土地区画整理による取壊の計画		
上位計画における位置付け	有【緑の基本計画（環境保全の拠点）】		

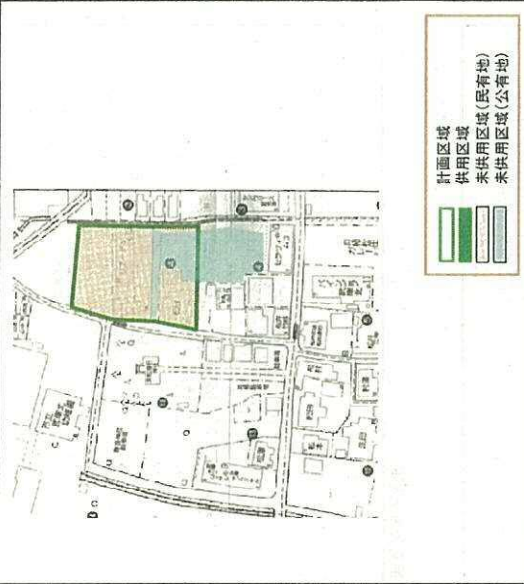


供用年月日	-	供用状況	全球未供用
供用面積	0.00ha	標準面積との比較	標準面積未満
未供用面積	0.27ha	供用率	0.0%
未供用面積の内訳	公有地	その他	民有地
	公園用地		
			0.22ha

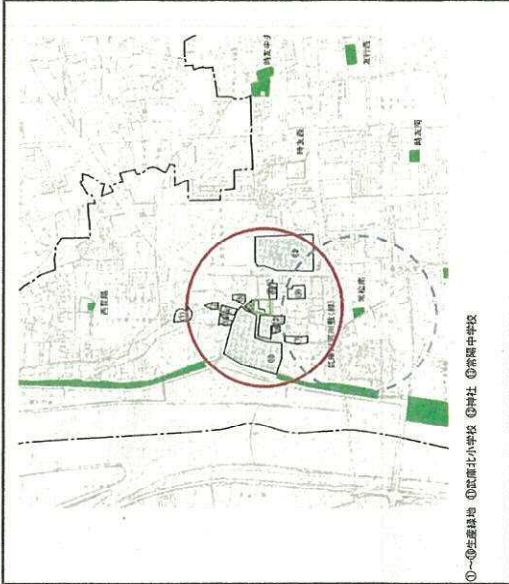
概算事業費	合計 479,372千円
内訳	用地買収費290,400千円、移転補償費102,572千円、工事費86,400千円
民有地の土地利用	独立住宅、集合住宅

周辺状況	都市公園の充足状況	一部未充足	常松南0.11ha
	上位計画で求められている緑地の比率	有(学校、神社、生産緑地)	
	都市公園機能の代替性	環境・景観	○   文化・レクリエーション △
	周辺の代管施設	武庫北小学校、常盤中学校、神社、生産緑地(10箇所)	
		防災	○

土地利用の状況等

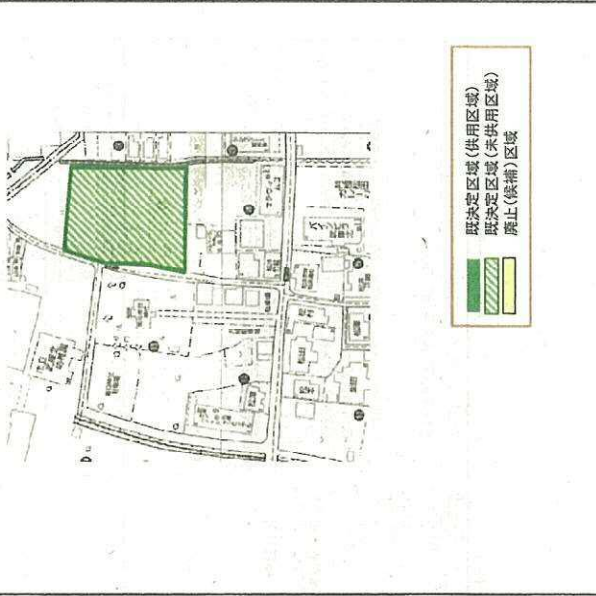


公園周辺の状況等



検証結果

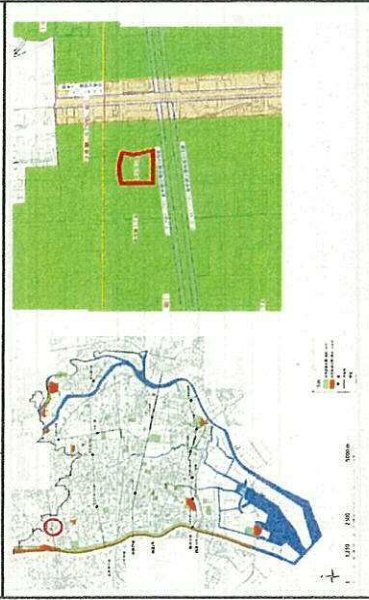
必要性	上位計画に位置付けがある	○:有 △:一部有 ×:無 -:検証不要
代替性	○ 全球未供用で未充足地である ○ 周辺に上位計画で定められている緑地の代替がある ○ 上位計画の緑地の代替 △ 代替施設として身近な公園がなく、文化・レクリエーション機能が不十分である	
実現性	△ 未供用区域は国有地及び市有地(公園用地)であり、市有地は整備が可能な 限に買収済の整備準備用地がある。 ○ 地域固有の歴史を含めた総合的な検証 △ 今後、市有地部分の整備状況等にあわせて都市計画の必要を行って いく。	
検証結果	存続	
特記事項		
	計画面積	見直し前 0.27ha 見直し後 0.27ha 廃止面積 0.00ha





2. 2. 4070号 時友西公園

公園概要		公園種別	街区
都市計画決定年月日	昭和32年3月28日	公園種別	0.32ha
最終	昭和60年2月26日	計画面積	最終
位置	尼崎市西昆陽1丁目	土地区画整理による取付の有無	-
用途地域	第1種中高層住居専用地		
上位計画における位置付け	無		



供用状況		供用状況	全喫未供用
供用年月日	-	標準面積との比較	標準面積未満
供用面積	0.00ha	供用率	0.0%
未供用面積	0.32ha	公有地	民有地
未供用面積の内訳	公園用地	その他	0.32ha

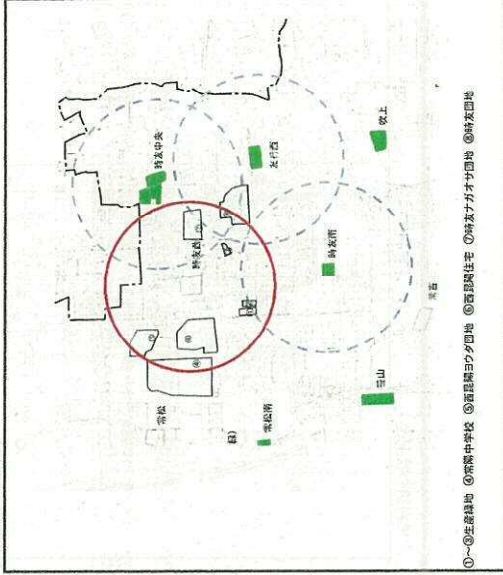
概算事業費	合計 1,042,085千円
内訳	用地買収費21,600千円、移転補償費418,085千円、102,400千円
民有地の土地利用	独立住宅(33軒)

周辺状況		一部未充足	時友中央0.43ha、友行西0.24ha、時友南0.09ha
都市公園の充足状況	上位計画で定められている	環境・景観	○ 文化・レクリエーション △ 防災 ○
都市公園隣地の代替性	環境・景観	○ 文化・レクリエーション △	
周辺の代替施設	常備中学校、東宮西昆陽住宅、市営時友団地、市営時友ナガサ団地、市営昆陽コウ田団地、生産緑地(3箇所)		

土地利用の状況等



公園周辺の状況等



検証結果

必要性	上位計画に位置付けがない	○:有 △:一部有 ×:無 -:検証不要
代替性	上位計画の都市公園機能の代替	○
実現性	未供用区域は民有地及び水路であり、整備が見込めない	×
地域固有の要素を含めた総合的な検証	公園東側の区域境界は水境界となっていることから、現状の地形にあわせて一部変更する。	○
検証結果	面積縮小(未供用の一部)	
特記事項		
計画面積	見直し前 0.32ha	
	見直し後 0.31ha	
	廃上面積 0.01ha	

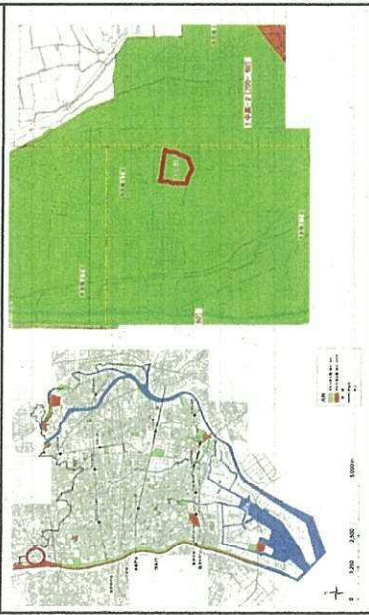




2. 2. 4071号 西民陽公園

公園概要

都市計画決定年月日	当初 昭和32年3月28日	公園種別	街区
	最終 昭和60年2月5日	計画面積	最終 0.22ha
位置	尼崎市西民陽2丁目		
用途地域	第一種中高層住居専用地域		
上位計画における位置付け	有緑の基本計画【環境保全の観点】		



供用状況

供用年月日	平成10年3月31日	供用状況	一部未供用
供用面積	0.05ha	標準面積との比較	標準面積未満
未供用面積	0.17ha	供用率	22.7%
未供用面積の内訳	公園用地	公有地	民有地
			0.17ha

総算事業費

概算事業費	合計 335,380千円
内訳	用地買収費234,600千円、移転補償費47,380千円、工事費54,400千円
民有地の土地利用	集合住宅、文化施設、保育施設、自治体行政施設

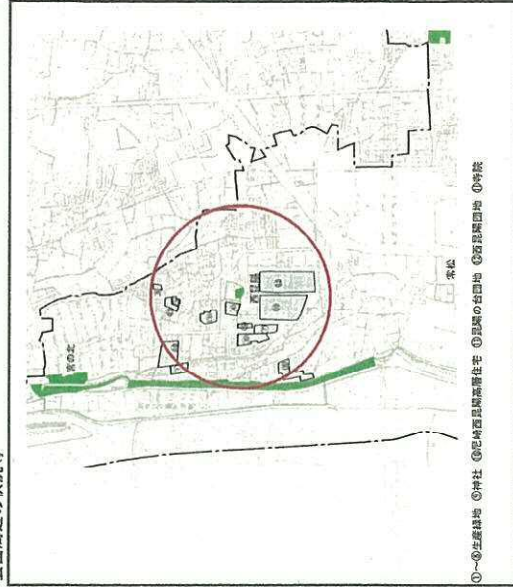
周辺状況

都市公園の充足状況	全域未充足
上位計画で求められている施設の代替性	有(公営住宅、神社、寺院、生産緑地)
都市公園機能の代替性	環境・景観 ○ 文化・レクリエーション △ 防災 △
周辺の代替施設	県営西民陽高層住宅、市営民陽の仮用地、市営西民陽団地、神社、寺院、生産緑地(6箇所)

土地利用の状況等



公園周辺の状況等



検証結果

必要性	○ 上位計画に位置付けがある ○ 一部未供用で標準面積未満であり、かつ未充足地である ○ 周辺に上位計画で求められている機能の代替がある
代替性	△ 代替施設としてある公園がなく、文化・レクリエーション機能及び防災機能が十分である △ 未供用区域は民有地であるが、一部整備が見込める ○ 新築団内に身近な公園がなく、また、供用部分のみでは街区公園としての機能が発揮できていないため必要である ○ 未供用区域の一部は、福祉会館、消防器具庫など公共的に利用されており、住宅地などと比べると整備の実現性がある。
実現性	△ 未供用区域は民有地であるが、一部整備が見込める ○ 新築団内に身近な公園がなく、また、供用部分のみでは街区公園としての機能が発揮できていないため必要である ○ 未供用区域の一部は、福祉会館、消防器具庫など公共的に利用されており、住宅地などと比べると整備の実現性がある。
検証結果	存続
特記事項	計画面積 見直し前 0.22ha 見直し後 0.22ha 廃止面積 0.00ha

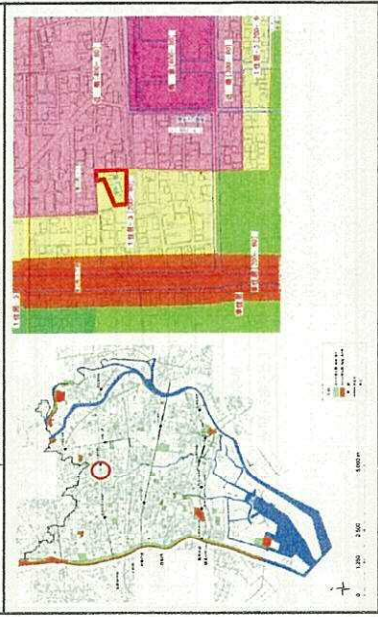


既定区域(供用区域)  
既定区域(未供用区域)  
廃止(候補)区域



2. 2. 4078号 菊町公園

公園概要	
総計計画年度	当初 昭和32年9月28日 最終 昭和60年2月28日
公園種別	街区 0.19ha
計画面積	最終 0.19ha
位置	尼崎市塚口町1丁目
用途地域	第一種住居 土地区画整理による取得の面積



土地利用の状況等



供用状況	
供用年月日	—
供用面積	0.00ha
未供用面積	0.19ha
未供用面積の内訳	公有地 0.01ha 公園用地 0.18ha 民有地 0.18ha
供用状況	標準面積との比較 0.0%
供用率	0.0%
全域未供用	標準面積未満

概算事業費	
合計	625,428千円
概算事業費	内訳 用地買収費42,400千円、移転補償費2,228千円、工事費60,800千円
民有地の土地利用	独立住宅(12軒)

周辺状況	
新市公園の充足状況	西の口0.08ha
上位計画で定められている緑の代替性	無
都市公園機能の代替性	環境・景観 × 文化・レクリエーション × 防災 ×
周辺の代替施設	無し

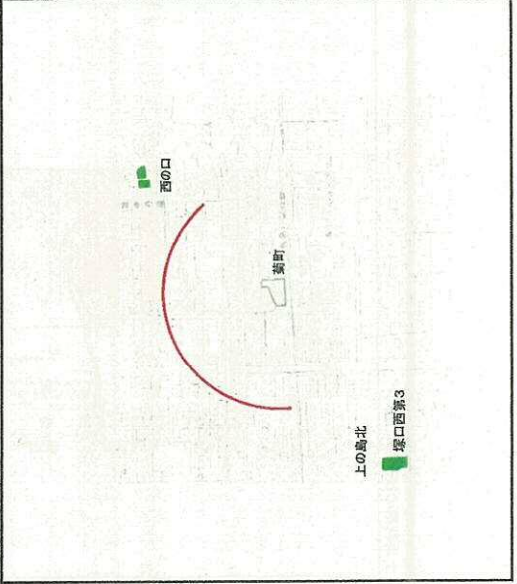
検証結果

○:有 △:一部有 ×:無 -:検証不要

必要性	上位計画に位置付けがある	○
代替性	全域未供用で未充足地である	○
実現性	代替機能が全て不足している	×
検証結果	未供用区域は民有地及び市有地(舊地)であり、整備が見込めない。誘致圏内に身近な公園や代替施設が全くない。既設庫口駅周辺の貴重なオープンスペースとして必要である。未供用区域のうち優先は永久的なものであることを要する。	○
特記事項	面積割小(未供用の一部)	面積割小(未供用の一部)
	存続する区域内で都市計画決定時の公園施設を設置できるスペースが確保できる。	
	計画面積	見直し前 0.19ha 見直し後 0.18ha 廃止面積 0.01ha



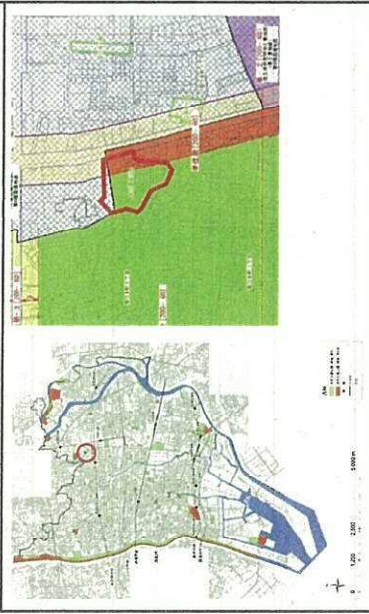
公園周辺の状況等



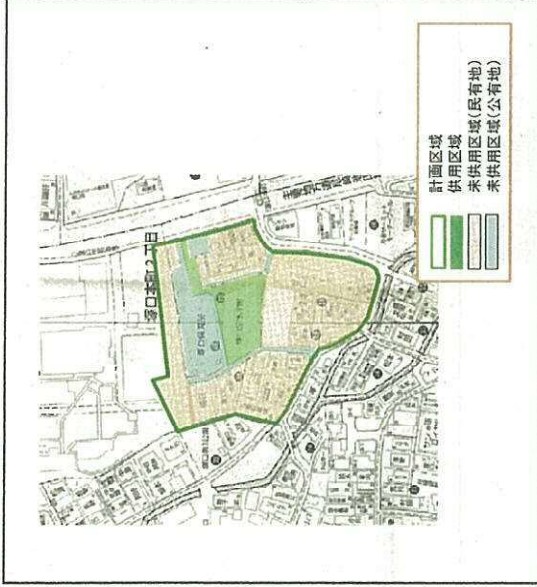


2. 2. 4080号 塚口公園前公園

公園概要		当初	昭和32年3月28日	公園種別	街区
都市計画決定年月日	最終	昭和60年2月5日	計画面積	最終	0.85ha
位置	尼崎市塚口本町2丁目				
用途地域	第1種中高層住居専用 準住居、工業 土地用途変更による取得の有無				
上位計画における位置付け	有【緑の基本計画(沿線の軸)】				



土地利用の状況等



供用状況

供用年月日	昭和45年3月31日	供用状況	一部未供用
供用面積	0.10ha	標準面積との比較	標準面積未満
未供用面積	0.75ha	供用率	11.8%
未供用面積の内訳	公有地	その他	民有地
	公園用地		

概算事業費

合計	2,100,859千円
概算事業費	内訳 用地買収費1,082,000千円、移転補償費768,859千円、工事費240,000千円
民有地の土地利用	施設住宅(0件)、商業・業務利用住宅(0件)、工業専用施設、一般店舗施設、集積施設、住居付

周辺状況

都市公園の充足状況	充足	周辺	商店街	公園	公園	公園
上位計画で定められている機能の代替性	有(街路樹)	有(街路樹)	有(街路樹)	有(街路樹)	有(街路樹)	有(街路樹)
都市公園機能の代替性	環境・景観	文化・レクリエーション	-	-	-	防災
周辺の代施設	充足のため代替性の検証なし					

検証結果

必要性	○	上位計画に位置付けがある	○	上位計画に位置付けがある
代替性	×	一部未供用で標準面積未達であるが、充足地である	×	一部未供用で標準面積未達であるが、充足地である
実現性	○	周辺に上位計画で求められている機能の代替がある	○	周辺に上位計画で求められている機能の代替がある
検証結果	△	実現性は有(街路樹)のみの供用(公園種別、種別、用途)であり、公園種別・用途は異なる	△	実現性は有(街路樹)のみの供用(公園種別、種別、用途)であり、公園種別・用途は異なる
特記事項	×	未供用区域の公園用地のうち、公園への進入道路のため未供用となっている区域がある。平成26年度に一旦廃止し、隣接する塚口係留所と用地交換後、平成27年度に塚口清水公園として供用開始している。	×	未供用区域の公園用地のうち、公園への進入道路のため未供用となっている区域がある。平成26年度に一旦廃止し、隣接する塚口係留所と用地交換後、平成27年度に塚口清水公園として供用開始している。

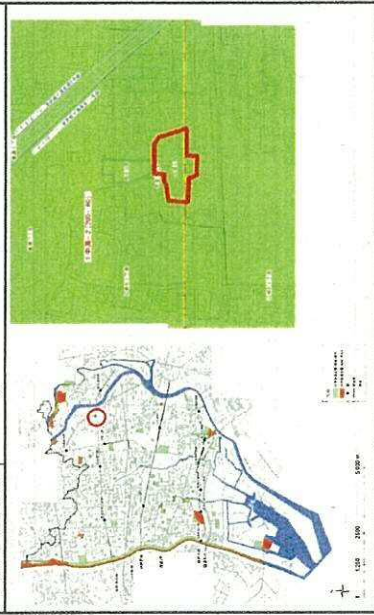
計画面積	見直し前	0.85ha
	見直し後	0.11ha
	廃止面積	0.74ha





2. 2. 4081号 宮裏公園

公園概要	
最終計画決定年月日	当初 昭和32年2月28日 公園種別 街区
位置	最終 昭和30年2月5日 計画面積 最終 0.64ha
用途地域	巴崎市瓦宮1丁目
上位計画における位置付け	第一種中高層住居専用 土地区画整理による取得の計画
	無



土地利用の状況等



供用状況	
供用年月日	全域未供用
供用面積	0.00ha 標準面積との比較
未供用面積	0.64ha 供用率 0%
未供用面積の内訳	公有地
	公園用地 0.01ha
	民有地 0.63ha

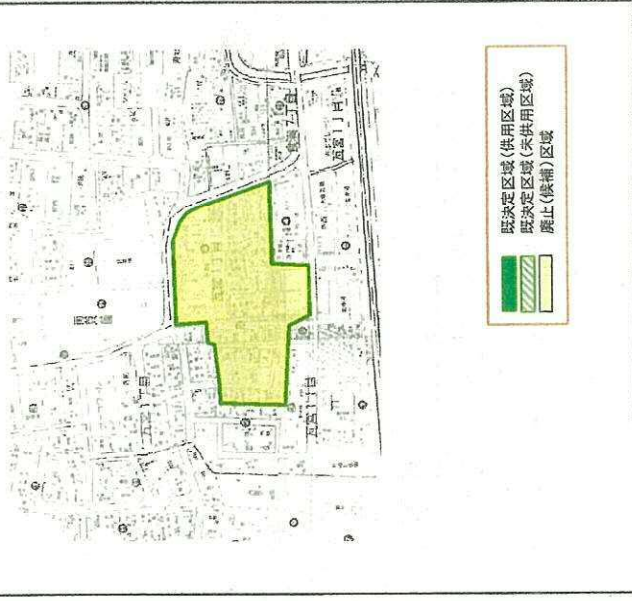
概算事業費	
概算事業費	合計 1,938,404千円
民有地の土地利用	内訳 用地買収費1,010,600千円、移転補償費723,004千円、工事費204,800千円 独立住宅(2軒)、集合住宅(2軒)、商業・娯楽用地(1軒)、公園用地(2軒)、工業専用施設、店舗施設

周辺状況	
都市公園の充足状況	充足
上位計画で定められている機能の代替性	—
都市公園機能の代替性	環境・景観 — 文化・レクリエーション — 防災
周辺の代替施設	充足地のため代替性の検証なし

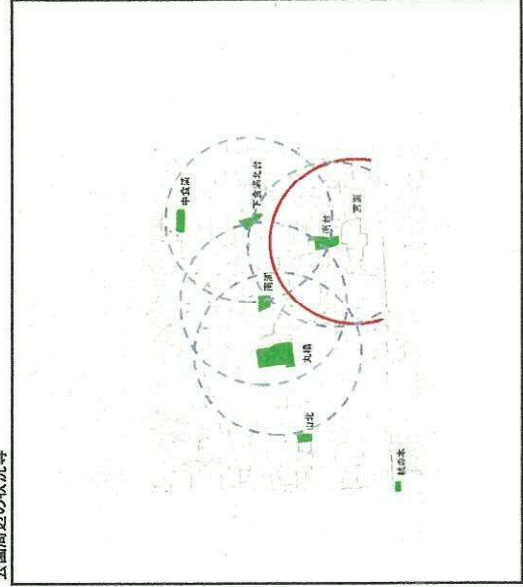
検証結果

必要性	上位計画に位置付けがない	○:有 △:一部有 ×:無 —:検証不要
代替性	全球未供用であるが充足地である	○:有 △:一部有 ×:無 —:検証不要
実現性	—	○:有 △:一部有 ×:無 —:検証不要
検証結果	—	○:有 △:一部有 ×:無 —:検証不要
特記事項	—	○:有 △:一部有 ×:無 —:検証不要

計画面積	
見直し前	0.64ha
見直し後	0.00ha
廃止面積	0.64ha



公園周辺の状況等

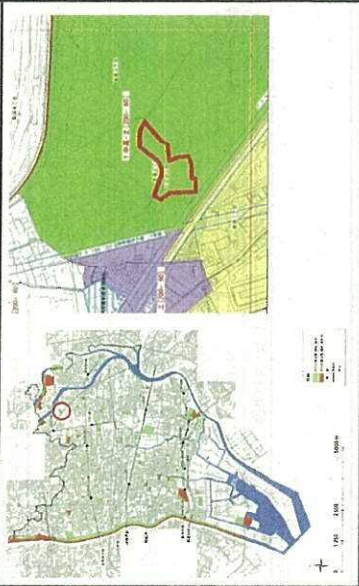




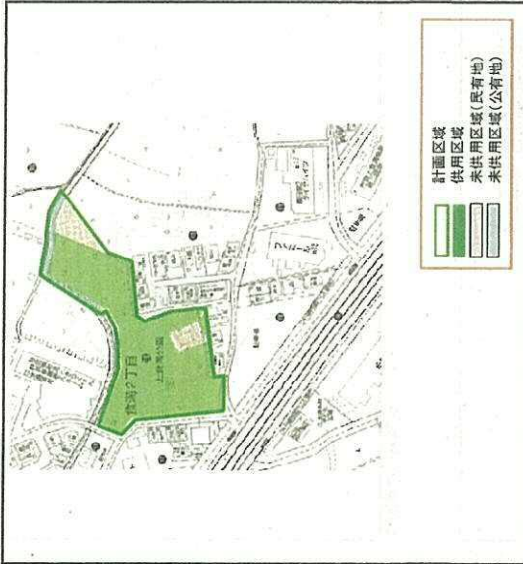
2. 2. 4082号 上食満公園

公園概要

都市計画決定年月日	当初 昭和32年3月28日	公園種別	街区
	最終 昭和60年2月5日	計画面積	最終 0.55ha
位置	尼崎市成満2丁目		
用途地域	第1種中高層住居専用品 土地区画整理による取得の専用		



土地利用の状況等



供用状況

供用年月日	昭和54年5月21日	供用状況	一部未供用
供用面積	0.49ha	標準面積との比較	標準面積以上
未供用面積	0.06ha	供用率	89.1%
未供用面積の内訳	公園用地	その他	私有地
		0.03ha	0.03ha

概算事業費

概算事業費	合計 61,800千円
内訳	用地買収費48,600千円、工事費19,200千円
民有地の土地利用	生草緑地、水鏡

周辺状況

都市公園の充足状況	一部未充足	大府重0.13ha
上位計画で定められている公園の代償性	有(上食満公園の供用部分、生草緑地)	
都市公園機能の代替性	環境・景観	文化・レクリエーション
周辺の代替施設	標準面積以上のため代替性の検証なし	
	防災	

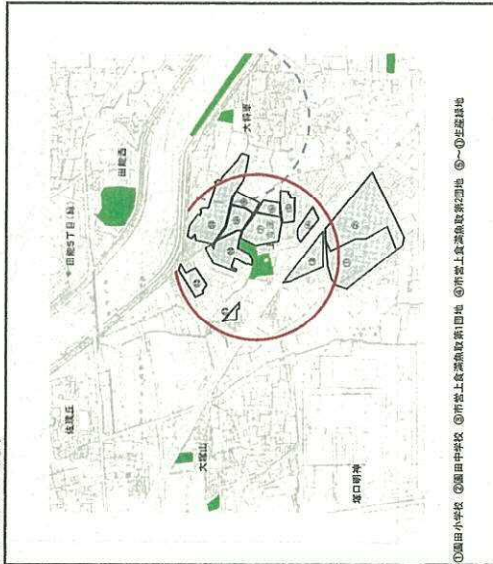
検証結果

必要性	○ 上位計画に位置付けがある
代替性	○ 一部未供用であるが標準面積以上である ○ 供用部分のみでその機能が十分発揮できている
実現性	△ 未供用区域は私有地及び水鏡である。私有地の一部は関西電力側の長距離送電線が、電力需要の増大等により取壊される可能性がある。
地域固有の要素を 含めた総合的な検証	× 供用面積が標準面積以上である。また、都市計画決定時に計画していた公園施設と同等の施設が設置されており、都市公園としての機能が供用部分で発揮できている。

検証結果	面積縮小(未供用の一部)
特記事項	
計画面積	見直し前 0.55ha 見直し後 0.50ha 廃止面積 0.05ha



公園周辺の状況等





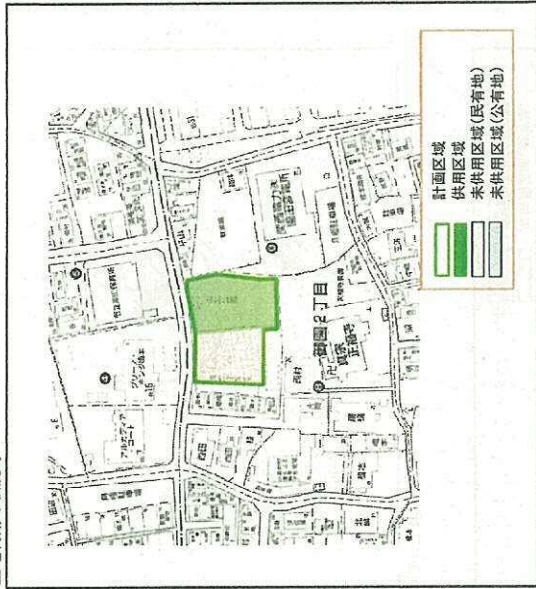
2. 2. 4084号 山北公園

公園概要

都市計画決定年月日	当初 昭和32年3月28日	公園種別	街区
	最終 昭和59年2月3日	計画面積	最終 0.19ha
位置	尼崎市御園2丁目		
用途地域	第一種住居		
上位計画における位置付け	土地区画整理による取替の計画		
	無		



土地利用の状況等



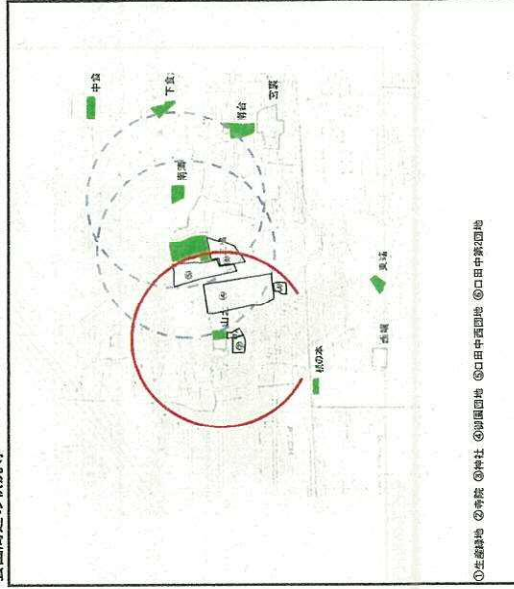
検証結果

○:有 △:一部有 ×:無 -:検証不要

必要性	上位計画における必要性 新市公園としての必要性	×	上位計画に位置付けがない 一部未供用で標準面積未達であり、かつ未充足地である
代替性	上位計画の代替性 都市公園としての代替性	-	換地区域内の道路を全て撤去し代替施設があり、不足する換地面積を担当する
実現性		×	未供用区域は全域民有地であり、整備が見込まれない
地域固有の要素を含めた総合的な検証		×	新市公園としての必要生があるが、周辺に代替施設があり、整備の実現性も低い。
検証結果			<b>面積減小(未供用の全部)</b> 都市計画決定時に計画していた公園施設と商業施設の施設が一部設置されている。また、代替施設の都市公園として本公園があり、その他豊後・豊後緑地、阪神緑地の代替施設として、東公社御園団地、市営口田中西団地、市営口田中第2団地、神社、寺院、生産緑地がある。
特記事項			
	計画面積	見直し前 0.19ha 見直し後 0.10ha 廃止面積 0.09ha	



公園周辺の状況等



供用状況

供用年月日	昭和61年3月31日	供用状況	一部未供用
供用面積	0.10ha	標準面積との比較	標準面積未達
未供用面積	0.09ha	供用率	52.6%
未供用面積の内訳	公園用地	公有地	民有地
			0.09ha

概算事業費

合計	200,471千円
内訳	用地買収費151,200千円、移転補償費20,471千円、工事費28,800千円
民有地の土地利用	農業施設

周辺状況

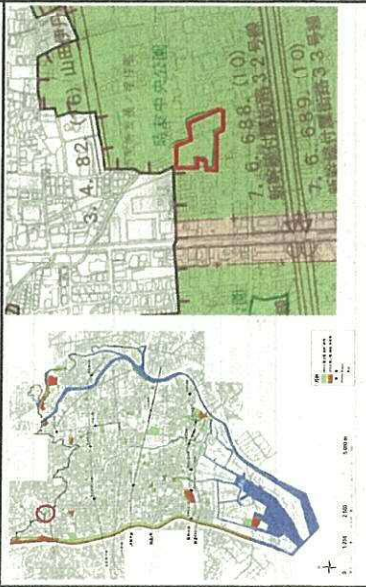
新市公園の充足状況	一部未充足	丸橋0.63ha、南浦0.15ha
上位計画で定められている換地の代替性	-	
都市公園機能の代替性	環境・景観	○ 文化・レクリエーション ○ 防災 ○
周辺の代替施設	丸橋公園、東公社御園団地、市営口田中西団地、市営口田中第2団地、神社、寺院、生産緑地	



2. 2. 4104号 時友中央公園

公園概要

都市計画年度	当初	昭和45年7月14日	公園種別	街区
	最終	平成5年12月20日	計画面積	最終
位置	尼崎市武庫之荘9丁目			
用途地域	第1種中高層住居専用品			
上位計画における位置付け	有(緑の基本計画(水辺の緑))			
	無			



土地利用の状況等



供用状況

供用年月日	昭和54年5月21日	供用状況	一部未供用
供用面積	0.43ha	標準面積との比較	標準面積以上
未供用面積	0.04ha	供用率	91.5%
未供用面積の内訳	公園用地	その他	民有地
	—	0.04ha	—

概算事業費

概算事業費	合計	12800千円
内訳	工事費	12800千円
民有地の土地利用	—	—

周辺状況

都市公園の充足状況	一部未充足	実行西0.24ha
上位計画で定められている公園の代替性	有(時友中央公園の供用部分で機能が発揮できている)	—
都市公園機能の代替性	環境・景観	—
文化・レクリエーション	—	—
防災	—	—
周辺の代替施設	標準面積以上のため代替性の検証なし	—

検証結果

必要性	○	上位計画に位置付けがある
代替性	×	一部未供用であるが、標準面積以上である
実現性	×	供用部分のみでその機能が十分発揮できている
地域固有の要素を含めた総合的な検証	×	未供用区域は全域水溢れあり、整備が見込めない
検証結果	存続	
特記事項		
計画面積	見直し前	0.47ha
	見直し後	0.47ha
	廃止面積	0.00ha

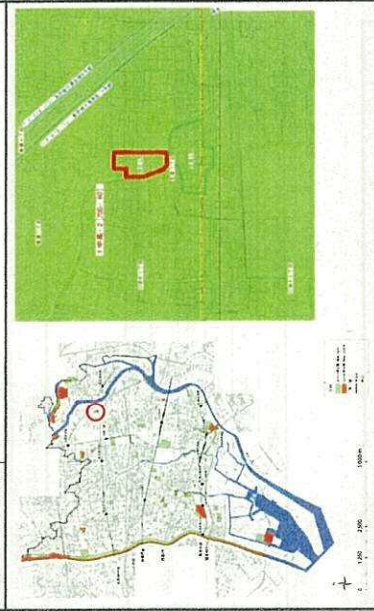




2. 2. 4145号 南台公園

**公園概要**

都市計画決定年月日	当初 昭和46年12月3日	公園種別	街区
	最終 昭和60年2月5日	計画面積	0.28ha
位置	尼崎市金満7丁目		
用途地域	第1種中高層住居専用品		
上位計画における位置付け	無		



**供用状況**

供用年月日	昭和60年3月24日	供用状況	一部未供用
供用面積	0.26ha	標準面積との比較	標準面積以上
未供用面積	0.02ha	供用率	92.9%
未供用面積の内訳	公園用地	その他	民有地
			0.02ha

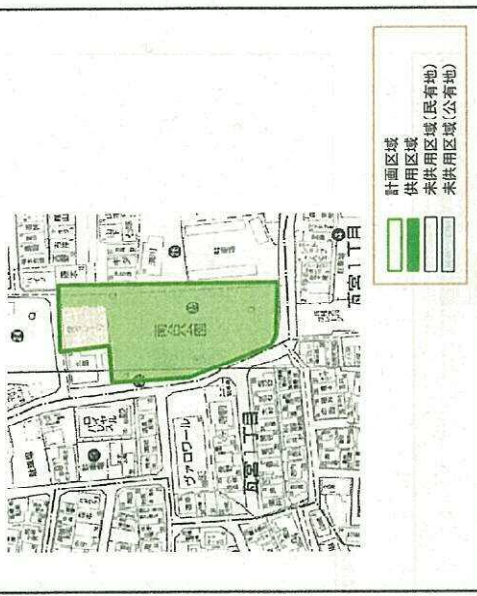
**概算事業費**

合計	34,000千円
内訳	用地買収費27,600千円、工事費6,400千円
民有地の土地利用	駐車場

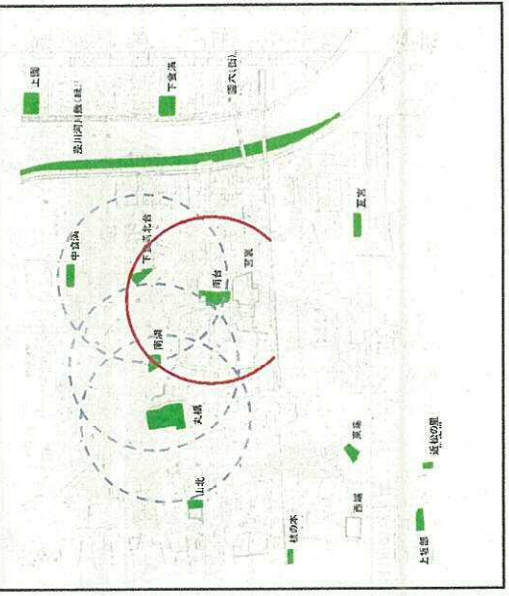
**周辺状況**

都市公園の充足状況	一部未充足	丸1橋0.63ha、南浦0.15ha、下食満北台0.15ha
上位計画で定められている緑地の代替性	-	
都市公園機能の代替性	環境・景観	文化・レクリエーション
周辺の代番施設	標準面積以上のための代替性の検証なし	防災

土地利用の状況等



公園周辺の状況等



**検証結果**

必要性	上位計画に位置付けがない	○:有 △:一部有 ×:無 -:検証不要
代替性	一部未供用であるが標準面積以上である	
実現性	未供用区域は全域民有地であり、整備が見込めない	
相対固有の要素を含めた総合的な検証	供用面積が標準面積以上である。また、都市計画決定時に計画していた公園施設と同等の施設が設置されており、都市公園としての機能が供用部分で発揮できている。	
検証結果	面積縮小(未供用の全部)	
特記事項		
計画面積	見直し前	0.28ha
	見直し後	0.29ha
	廃止面積	0.02ha





3. 3. 401号 大物公園

公園概要

都市計画案発案年月日	当初 昭和21年6月15日	公園種別	近隣
位置	最終 昭和38年1月25日	計画面積	最終 1.9ha
用途地域	尼崎市東大物町1丁目 第1種住居	土地区画整理による取得の有無	有(既(復興))



土地利用の状況等



供用状況

供用年月日	昭和38年10月8日	供用状況	一部未供用
供用面積	1.5ha	標準面積との比較	標準面積以上
未供用面積	0.4ha	供用率	78.9%
未供用面積の内訳	公園用地	公有地	民有地
		0.40ha	

概算事業費

概算事業費	合計 92,000千円
民有地の土地利用	内訳 工事費92,000千円

周辺状況

都市公園の充足状況	一部未充足	大物公園0.13ha、東大物公園0.11ha、東公園0.11ha、緑野公園0.12ha、緑川公園0.13ha
上位計画で定められている公園施設の代替性	有(街路樹、大物公園の供用部分で機能が発揮できている)	
都市公園施設の代替性	環境・景観	文化・レクリエーション
周辺の代替施設	標準面積以上のため代替性の検証なし	防災

検証結果

必要性	○ 上位計画に位置付けがある	○:有 △:一部有 X:無 -:検証不要
代替性	○ 一部未供用であるが、標準面積以上である ○ 周辺に上位計画で求められている機能の代替がある	
実現性	○ 未供用区域は全都市有地(倉庫)であり、整備が見込める ○ 供用面積が標準面積以上である。また、都市計画決定前に計画していた公園施設と同等の施設が設置されており、都市公園としての機能が供用部分で発揮できている。	
検証結果	面積割小(未供用の全部)	
特記事項	廃止区域については、上位計画に基づき沿線緑化を誘導していく。	
計画面積	見直し前 1.90ha	
	見直し後 1.50ha	
	廃止面積 0.40ha	

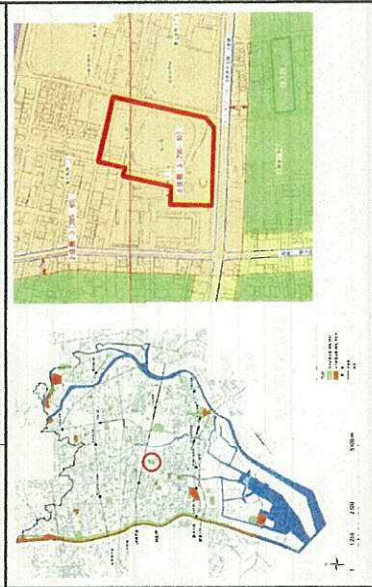




3. 3. 402号 橋公園

公園概要

都市計画決定年月日	当初 昭和21年8月15日	公園種別	近隣
	最終 昭和64年2月5日	計画面積	最終 2.8ha
位置	尼崎市東七松町1丁目		
用途地域	第一種住居	土地区画整理による区域の再編	



土地利用の状況等



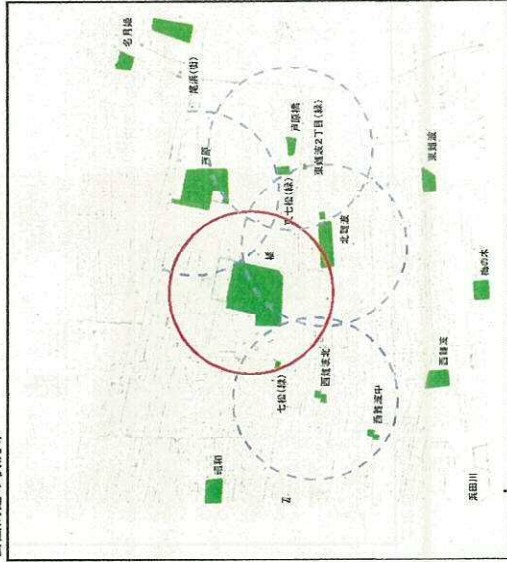
検証結果

○:有 △:一部有 ×:無 -:検証不要

必要性	○ 上位計画に位置付けがある 一部未供用であるが標準面積以上である
代替性	○ 供用部分のみでその機能が十分発揮できている
実現性	△ 未供用区域は既存地及び所有地(公園用地、道路)であり、公園用地は整備が図られる 供用面積が標準面積以上である。また、新市計画決定後に計画していた公園施設と同等の施設が設置されており、都市公園としての機能が供用部分で発揮できている。
検証結果	面積縮小(未供用の全部) 土地の所管替えについて検討する。
特記事項	
計画面積	見直し前 2.8ha 見直し後 2.3ha 廃止面積 0.5ha



公園周辺の状況等



供用状況

供用年月日	昭和26年12月27日	供用状況	一部未供用
供用面積	2.3ha	標準面積との比較	標準面積以上
未供用面積	0.5ha	供用率	82.1%
未供用面積の内訳	公園用地	その他	民有地
	0.36ha	0.08ha	0.06ha

概算事業費

合計	287,607千円
概算事業費	内訳
用地買収費	17,000千円
移転補償費	159,107千円
工事費	11,500千円
民有地の土地利用	独立住宅(2軒)、商業・業務兼用施設(2軒)

周辺状況

都市公園の充足状況	一部未充足	西隣地10.07ha、北隣地0.53ha、南原1.34ha、南原幅0.10ha
上位計画で定められている公園の供用部分で機能が発揮できている	有	有(橋公園の供用部分で機能が発揮できている)
都市公園機能の代替性	環境・景観	- 文化・レクリエーション
都市公園機能の代替性	環境・景観	- 文化・レクリエーション
周辺状況	標準面積以上のため代替性の検証なし	防災